

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

Rotary 
第2520地区

2025-2026

ROTARY INTERNATIONAL

DISTRICT 2520

GOVERNOR: TAKEHIKO KATOH

CONTENTS

ガバナーメッセージ	02
特別月間テーマに寄せて	03
学友会総会・地区財団セミナー報告・青少年交換	05
ガバナー公式訪問報告	07
6～8月寄付認証	10
クラブ会員数・寄付状況	11
新入会員紹介	12
退会者報告・お知らせ・訂正とお詫び・編集後記	13

10

2025

月信

VOL.04





地域社会の経済発展月間に寄せて

国際ロータリー第2520地区ガバナー

加藤 雄彦 Takehiko KATO

10月はロータリーの「地域社会の経済発展月間」です。経済発展と聞くと、大規模な産業振興や国際的な経済支援を思い浮かべるかもしれません。しかし、ロータリーが掲げる「地域社会の経済発展」は、もっと身近で、そして持続可能な営みです。それは、地域に根ざした人々の暮らしを支え、未来への希望を築くための基盤を整えることに他なりません。農業や水資源の活用、教育や文化活動、若者たちの育成といった一つひとつの取り組みが、地域の経済と社会を豊かにする力になります。

今月のガバナー月信の表紙には「赤いバラ」を選びました。赤いバラの花言葉は「情熱」「愛情」「尊敬」です。これはロータリーの奉仕活動に深く通じています。地域の課題解決に注ぐ情熱、人々や仲間への愛情、そして先人たちの努力や伝統に対する尊敬。これら三つの心が融合してこそ、奉仕は力強さを増し、地域に持続的な価値をもたらすのです。

国際ロータリーのフランチェスコ・アレツォ会長は、本年度の重点課題のひとつとして「新たなパートナーシップの構築」を掲げています。奉仕をクラブの内に閉じ込めず、地域社会の団体、行政、教育機関、企業、さらには国際社会と手を携えて取り組むこと。そしてその成果を外に発信すること。これにより公共イメージが高まり、ロータリーの魅力はさらに輝きを増します。

その理念を具体的に示す事業が、第2520地区で進められています。大崎市鳴子温泉地域における「南原穴堰 世界かんがい施設遺産保全支援プロジェクト」です。南原穴堰(みなみはらあなぜき)は江戸時代に築かれた延長1,880メートルの水路で、そのうち1,330メートルがトンネルという大規模な施設です。400年近くにわたり地域住民によって守られ、13ヘクタールに及ぶ水田を潤し続けてきました。その価値が認められ、2024年には「世界かんがい施設遺産」に登録されました。しかし、現代においては後継者不足や高齢化により維持管理が難しくなっているのが現実です。

そこで、古川東RC(代表・申請者)、古川RC、岩出山RC、加美RCの4クラブが力を結集し、環境保全機材を寄贈し、人材育成を支援するプロジェクトを立ち上げました。この取り組みは、地域農業の継続だけでなく、地域社会の誇りを次世代へと受け継ぐための営みです。ここで特筆すべきは、この4クラブをまとめ上げ、事業を推進へと導いた早坂竜太ガバナーノミニ(2027-2028年度ガバナー)の存

在です。地域の歴史と文化を尊重しつつクラブ間の連携を調整し、地区財団補助金を効果的に活用した早坂氏のリーダーシップは、赤いバラが象徴する「尊敬」にふさわしい功績です。

さらに、このプロジェクトの財源の一部はDDF(地区財団活動資金)によって支えられています。ご存じの通り、DDFは地区会員が3年前に行った年次寄付を原資としてロータリー財団から配分される資金です。つまり、会員一人ひとりの寄付が時間を経て形を変え、地域の現場で生きた支援として活用されているのです。ロータリー財団への寄付は義務ではなく、未来の地域と世界への「投資」であり、ロータリー活動を活性化させる力強い基盤です。この事実を改めて共有し、会員皆さまの寄付が実際に地域社会を支えていることを実感していただければ幸いです。

また、私たちが続けているウクライナとの交流・支援も、経済発展の視点から語ることができます。戦禍で学校や地域社会が破壊されたウクライナにおいて、教育や青少年交流を通じて自立を後押しすることは、未来の安定と発展を築く営みです。昨年から進めているインターアクトクラブ同士の交流や青少年の招待事業は、若者に「学び」と「希望」を与えるとともに、平和で持続可能な社会づくりに直結するものです。

10月はまた、「米山記念奨学会月間」です。収穫の季節を迎える時期と重ねて米山記念奨学生の人材育成にもご協力をお願いいたします。地域で積み重ねた努力が実を結び、次の季節へと受け継がれていくように、私たちの奉仕の情熱も確かな成果として未来に残していかなければなりません。赤いバラの花言葉「情熱」「愛情」「尊敬」は、この秋の実りと同じように、ロータリーの精神を豊かに映し出しています。

どうか今月、各クラブにおいても、地域の課題を見つめ直し、仲間と手を取り合って新たな奉仕のかたちを育てていただきたいと思います。情熱をもって行動し、愛情をもって人々に寄り添い、尊敬の念をもって伝統を受け継ぐこと。それがロータリーの存在価値であり、地域社会の経済発展につながる力です。

私たちは「UNITE FOR GOOD — よいことのために団結しよう」のスローガンのもと、地域に、そして世界に、確かな未来を築いてまいりましょう。



「経済と地域社会の発展月間」に寄せて 「Resilience」が未来を拓く

NHK仙台放送局 局長

小椋 並樹 (仙台RC) Namiki Ogura

ラジオ放送が始まって100年。この間、NHKは東北の地域とともに歩んできました。いま仙台放送局は東北の歩みを多面的にとらえ、その経験を未来への教訓として生かす番組を展開しています。この番組の底流に流れるテーマは、東北が持つ「Resilience」（困難などからの「回復力」「復元力」の意味）です。先人は、逆境や苦難に直面しても、強靱でしなやかに、そして、したたかさをもって乗り越えてきました。

経済記者の私が、報道局経済部長を終えるまでの約30年は、日本経済の「失われた時代」と重なります。この道を歩むきっかけは、かつて仙台放送局で取材したコメ問題にありました。当時、食糧管理法廃止など農業は大転換期を迎えていました。そのコメ問題が、今また社会の関心事となっています。

取材で出会い記者人生の師ともいえる人がいます。宮城県角田市の専業農家O氏です。70歳を超え息子に田んぼを任せましたが、半世紀、米を作り続けてきた彼にこそ「Resilience」という言葉が当てはまります。

彼は、30年前から農協以外の販売先を開拓し、直接、消費者に米を販売してきました。消費者に届く米には、彼が毎月書き続けた「田んぼ通信」が添えられ、その数は370号を超えました。この中には、日の出から夜遅くまで働くO氏の姿があります。生きていくために最も必要な食糧を作る仕事が百姓であり、それこそが最大の社会貢献だという自負と誇りも綴られています。

一方で、農家と地域社会の厳しい現実が詰まっています。農業技術が発達してもなお、米作りは天候などに左右され不安定なままです。冷害、猛暑などの異常気象、東日本大震災、台風による洪水、そしてコロナ禍も追い打ちをかけました。無事に収穫を終えても、米の価格に影響する農協の概算金は生産

コストを下回るなど理不尽ともいえる状況が記録されています。

地域では中核農家が減少しています。それに伴ってO氏の作付面積は拡大してきました。しかし、そこには規模の大きな兼業農家さえも米作りをやめ、その田んぼをリスク覚悟で引き受けなければならない地域事情があります。

彼はこうも書きます。

日本人は当たり前すぎて常に食糧が溢れている現実は何ら疑問も感じない。一方の農家は再生産できる収入があつてこそ米作りを続けられる。双方の「当たり前」が共有できない現実。店から米がなくなって初めて互いの当たり前になる。

今、それが現実のものとなっています。

O氏は、農政の失敗は血税を投入しながら農業の担い手を育てるどころか失い続けたことにあるといっています。この30年は農業にとっても失われた時代なのです。その彼が、これからの担い手は単なる農業経営者ではなく「地域社会経営者」としての誇りを持った存在として育成すべきだと訴えます。農業が基幹の東北にあつて、経済と地域社会の発展は、厳しい現実と直面しながらも未来を拓く次世代の農業者を増やしていけるかにかかっています。

政府はコメ増産へ転換し、「生産調整」を見直して経営の大規模化などを進めるとしています。しかし、幾度も農政の転換と言われながら失敗や中途半端なものに終わってきました。解決に向け残された時間は限られています。私たちは、生産者、消費者などの立場をこえて、未来の農業や地域社会の在り方を早急に描き出す必要があります。そして私は信じます。東北が持つ「Resilience」が地域の未来を拓くと。

特別月間テーマに寄せて



米山月間

地区米山記念奨学会委員長

白鳥 淳 (仙台RC) Atsushi Shiratori

今月は米山月間です。事業への理解と推進をお願いいたします。

私は今年度地区米山記念奨学会委員長を仰せつかりました築館ロータリークラブ所属の白鳥です。今年度で地区委員長7回目です。知らず知らず大ベテランになってしまいました。全国でもこのように委員長を長く勤めているのはまれであると驚かれています。中身が伴いません。言うまでも無く米山事業の中身とは寄付金の拠出推進です。前委員長年度個人平均寄付額34地区中33位と低迷したのを打破すべく昨年一年間色々取り組んできましたが、結果は前々年度と同じ34地区中33位でした。なお、悪いことには順位は同じであっても、寄付額は減っており頭を痛めています。寄付増進の必要理由はわかりの通り、寄付額により奨学生の割当数が決定されるため、寄付金が少ないと受入奨学生も少なくなり、米山事業から疎遠になってしまうという悪循環に陥るからであります。

ここでもう一度米山事業に関し整理してみます。

1) 米山記念奨学事業とは

公益財団法人ロータリー米山記念奨学事業とは、日本に在留している私費外国人留学生に対し、日本全国のロータリアンの寄付金を財源として、奨学金を支給して支援する民間では日本最大の奨学団体です。これまでに支援した奨学生数は、累計で世界134の国と地域から24,830人になっており多くの方が母国で活躍し日本との架け橋になっています。

2) 寄付金

普通寄付金と特別寄付金の2種類があります。普通寄付金とは日本の全ロータリアンからの定期寄付で、各クラブで決定した金額×会員数分を半期に一度送金します。財団法人の許可を申



請した際、安定収入が見込めると説得し、国内全クラブから普通寄付金の確約を貰う事を条件に設立許可を得ております。又、この事業は全地区が参加する「多地区合同活動」でございます。特別寄付金は個人・法人・クラブからの普通寄付金以外の任意寄付です。金額に決まりはありません。

3) 2520地区の現状

前年度個人平均寄付額は7,677円全国平均15,999円で34地区中33番目と低ランクになっています。寄付額0クラブはございませんでした、感謝申し上げます。寄付金の額が受入奨学生数に連動しており2022年度実績より新規奨学生数を11名採用することができました。事業に理解をしてくれているクラブに優先的に世話クラブをお願いするようにしています。

4) 今年度の目標

研修会、奨学生卓話、地区役員のクラブ訪問など積極的に活動を行いたいと考えております。あえて目標を挙げれば個人、クラブ、地区とも前年度以上のご協力をお願い致します。前年度佐藤パストガバナーが地区研修協議会の席上で話された「東日本大震災時各国、各方面から頂いた多額の支援金を恩返しをしたい」その一環として米山寄付金にも拠出していただければと考えています。2011年東日本大震災直後に米山寄付額が全国で24位と素晴らしい成績をおさめ奨学会から驚異の目で見られ感心されました。このように我が地区に寄付文化があるのは過去の実績が示しております。

今年度一步前に進むことが出来れば奨学生の受入数も増え身近な事業に感じる事が出来るでしょう。ご支援、ご協力を重ねてお願い申し上げます。





米山記念奨学会学友会総会

2025-26年度 米山記念奨学会学友会会長

文 慶喆 (仙台RC)

第2520地区米山記念奨学会学友会の年次総会が2025年7月20日、仙台市所在江陽グランドホテル白鳥の間にて開催されました。本総会にはロータリーアン12名、米山記念奨学生10名、米山記念奨学会学友会員11名の総勢33名が出席し、本学友会の段志杰会員の司会進行で始まりました。会長の挨拶の後、国際ロータリー第2520地区加藤 雄彦ガバナーと特別に駆けつけて下さった(財)ロータリー米山記念奨学会の大久保 章宏常務理事から祝辞を頂きました。第一部の総会では本学友会の文 慶喆



会長を議長に議事の審議を行い、2024-2025年度の活動報告や収支決算報告の後、江川 元徳監査のいずれも正確、適正であることを認めるといふ監査の結果を受け、全会一致で承認されました。その後2025-2026年度の活動として恒例の親睦活動であるリンゴ狩りや新しい事業として米山記念奨学会の教育月間に合わせた国際交流出前講座等が提案され、それに合わせた新年度の予算案も審議されいずれも承認されました。国際交流出前講座は米山精神を学友会が社会に実践する良い機会なので今後拡大していくことを確認しました。その後、第2520地区米山記念奨学会学友会の会則及び施行細則の部分的な改正の審議が提案され、活発な議論を行い、修正加筆の末全会一致で採択されました。10分間の休憩の後、第二部の懇親会にうつりました。開会の後、自由討論の部では当地区の柴田 茂ガバナーエレクト、早坂 竜太ガバナーノミニ、また白鳥 淳米山奨学委員会委員長を始め出席の全委員から貴重なご意見や激励のお言葉を頂きました。更にロータリーアンと奨学生、学友会員との懇親が深められ、有意義な時を過ごしました。最後に出席者全員の集合写真を撮り、出席者一人一人に深く感謝の意を伝え、無事終了致しました。



地区財団セミナー／ 地区補助金セミナーについて

地区財団委員長

伊藤 智仁 (花巻南RC)

午前中の財団セミナーは第1地域RRFC新井和雄様により「世界のためによいことをすれば、地域社会も豊かになる」をテーマに、2820地区のウクライナ支援を話題にしなが、PG鈴木俊一様とRA地区代表和田夏歩様を交えパネルディスカッションをしました。当初は戦いで家を失った人に対する支援として実施国・援助国ともに感動に包まれたプロジェクトでしたが、終わる気配を見せない争いのもと「何故、戦争に進んでしまうのか」「そのような状況下で自身がどう対応すれば良いのか」そんなことまで議論が進みました。勿論、



年度	2017	2018	2019	2020
会員数	2,047	2,066	2,066	1,292
寄付総額	894,351	884,775	864,112	879,176
寄付総額/会員数	436,881.84	428,221.88	418,150.47	677,800.56
寄付総額/1人	4	2	19	23
平均年齢	4	5	2	6
平均年齢/1人	4	5	2	23

正解があるわけではありません。ただし、こうしたことを自分事として考える人が多い社会ほど平和になる感じがします。

午後は補助金申請の要件となる補助金管理セミナーです。今回はMyRotaryのラーニングを使用して研修しました。そもそもこの学習には3時間強の時間を要します。プロジェクト実施において欠かせない考え方が身に付きます。地区ホームページに投稿しておきますので御覧ください。自力でラーニングに取り組むのはなかなか難しいし、MyRotaryを実感する機会にもなるはずですよ。



青少年交換帰国報告会並びに壮行会、 青少年交換IB生オリエンテーション

青少年交換委員長

佐々木 史昭 (花巻RC) Fumiaki Sasaki

去る8/2(土)、仙台育英学園宮城野キャンパスにおいて、当地区の青少年交換プログラムにより2024-25年度に派遣された佐藤音々さんと崔裕眞さんの帰国報告会と、2025-26年度に派遣される及川久玲羽さんと高橋杏奈さんの壮行会が開催されました。帰国したばかりの2名には立派な報告動画を提出いただき、成長を感じさせる感動の挨拶を述べていただきました。

8/22(金)には新たに当地区で10ヶ月の留学生生活を体験するIB生2名、フランス1520地区リールからアリス・アリキ・ディノスさん(ホスト仙台南RC、常盤木学園通学)と米国ウイスコンシン州5960地区からケイラ・コールマンさん(ホスト花巻RC、花巻北高通学)が無事仙台入りし、23(土)にオリエンテーション、24(日)に各ホストクラブへの引渡式が行われ、日常生活が始まりました。オリエンテーションには、2人の帰国生と先輩ROTEXの藪あゆいさん、赤江梨乃さん、平井かのんさんが応援に駆けつけてくれて、IB生の日本語による自己紹介などに貴重なアドバイスを頂きました。地区の皆様には大変お世話になりますが、何卒宜しく願い申し上げます。



長期IB生のアリスとケイラを囲んでの引渡式



アリスと仙台空港に出迎えた仙台南RCのメンバーと交換委員



ケイラと出迎えた佐藤剛パストガバナーと交換委員



2024-25年度派遣生と2025-26年度派遣生の集合写真

ガバナー公式訪問報告

第7分區 仙台東ロータリークラブ

■ 開催日：8月25日（月） ■ 会場：ホテルメトロポリタン仙台
 ■ 同行者：板垣金太郎 次席副代表幹事 渡邊 宏 ガバナー補佐



会長幹事懇談会では、加藤雄彦ガバナーより、去る7月19日に開催されたインターアクトクラブ60周年年次大会のご報告や、全国インターアクト研究会、世界大会等の今後の活動予定などについてお話を頂戴しました。来日したウクライナ第2232地区チェルカスイ市第27高校のインターアクトクラブの高校生の来日感想「日本の高校生達が、自身の境遇を一生懸命理解しようとしてくれたことが何より嬉しい」との言葉が一番印象的でした。平和の実現に我々ができることは少ないかも知れませんが、高校生同士の心のふれあいは、彼女たちにとっても今後も大きな心の支えになるのではないかと、思います。ロータリー財団地区補助金を活用し、ウクライナの高校生達を招致してよかつた、と改めて思います。関係者の皆様には、この場をお借りして、これまでのご支援とご協力に深く感謝を申し上げます。

会長幹事懇談会に引き続き例会でも、7月26日に遠野ロータリークラブが開催した柳田國男生誕150年記念シンポジウムのお話、国際協働委員会の立ち上げ等、今後の活動について非常に興味深い、精力的なお話を頂戴し、会員一同にとって大きな刺激となりました。今後の当クラブの奉仕活動にも生かしてまいりたいと考えております。

この度のご訪問、誠にありがとうございました。

（報告者：菅野 修／仙台東RC幹事）

第7分區 仙台奥羽ロータリークラブ

■ 開催日：8月26日（火） ■ 会場：医療法人総志会モークシャタウンホール
 ■ 同行者：大槻 昌夫 代表幹事 パブロヴァ・アンナ 渡邊 宏 ガバナー補佐



先日のガバナー公式訪問では、会長幹事会において、当クラブが実施しているハイブリッド形式の例会など従来にない取り組みについてご指導を賜りました。また、親クラブを持たない新しいクラブゆえ、他クラブとの友好を深める必要性についてもご示唆いただきました。続くクラブ協議会では、ガバナー方針を丁寧にご説明いただき、特に地区賦課金の見直しや地区補助金の新たな活用方法の提案が印象に残りました。

既成概念を見直していく姿勢に深い感銘を受けるとともに、地区大会においてオンライン参加を可能とする予定にも触れ、これからの変化に大きな期待を抱きながら、今後の活動に取り組んでまいりたいと存じます。（報告者：岩淵 雄司／仙台奥羽RC会長）

第7分區 仙台北ロータリークラブ

■ 開催日：8月27日（水） ■ 会場：江陽グランドホテル
 ■ 同行者：大槻 昌夫 代表幹事 渡邊 宏 ガバナー補佐



会長幹事会では、仙台北RCがしっかりした活動計画を作成していることについてご評価頂いた。その上で、

- ①大和RCが12月末で終結予定であるためスポンサークラブである当クラブが衛星クラブとして残す道がないか泉RCと検討すること、
- ②3年後に何をやるかという目標を掲げてDDFを活用すること、
- ③MyRotaryでRIのロータリー賞を狙うこと など、大変情熱溢れるご指示を頂き高揚した。

例会では、RI国際協議会の活気溢れる様子とRIの4つの優先事項をお話し頂き、2520地区で起きた二つの奇跡、そしてこれから起こしたい3つ目の奇跡を共有頂き、メンバー一同ロータリーの持つ可能性に気付くことができた。これらの学びを活かしてさらに良いクラブにしていきたい。

（報告者：鈴木 三尚／仙台北RC幹事）

第7分區 仙台南ロータリークラブ

■ 開催日：8月28日（木） ■ 会場：ウェスティンホテル仙台
 ■ 同行者：安曇 謙三 渡邊 宏 ガバナー補佐



例会に先立って行われました会長幹事会は、主に加藤ガバナーからのご意見・ご質問に対してお答えしていくスタイルで行われました。

主なご意見・ご質問は以下の通りです。

- ・計画書が大変よくできている
- ・衛星クラブとの関わりの頻度や内容に関して
- ・IMの内容に関して
- ・ポリオの取り組みに関して
- ・クラブ優秀賞を意識して活動に励んでほしい
- ・台北国際大会に関して

その後の例会ではガバナーよりご講演をいただき、より会長幹事会の内容の理解を深めることができました。

（報告者：今野 勝彦／仙台南RC幹事）

第7分区分 仙台西ロータリークラブ

■開催日：8月29日（金） ■会場：ウェスティンホテル仙台
■同行者：大槻 昌夫 代表幹事 渡邊 宏 ガバナー補佐



例会に先立ちガバナー・会長幹事懇談会では今年度、当クラブ方針である3カ年行動計画策定及び内容について報告いたしました。ガバナーからはロータリーの持続的発展において若い世代の会員増強が必要であり、多賀城RCの衛星クラブ設立の経緯と仙台奥州クラブの事例紹介と来年度国際大会参加についてアドバイスをいただきました。

例会では国際RIのあり方について「ロータリーと共に歩む旅」に例え分かり易くご説明して頂き、また、ガバナーが特に今までやってきたことの中で地区の補助金の活用及びクラブの新たなパートナーシップの発展と地区の行動計画におけるパートナーシップ開発についてご講演していただきました。御多忙の中、公式訪問を頂き感謝申し上げます。（報告者：毛利 剛／仙台西RC会長）

第7分区分 仙台青葉ロータリークラブ

■開催日：9月3日（水） ■会場：ホテルメトロポリタン仙台
■同行者：大槻 昌夫 代表幹事 及川 正紹 ガバナー補佐

（加藤ガバナーより）

・台北国際大会へのより多くの参加打診をいただいた。現在4名の参加だが、今期会員増強最優秀会員には、会長より台北国際大会招待が送られる予定。引き続き、声掛けをする。それに伴い、6月14日のガバナーナイトへ出席の際は、事前に会員番号と名前を報告しておくことをご教示いただいた。

・あおば食堂の進捗（社会奉仕委員会主催）／あおば区民まつりの概要（ポリオ撲滅／インターアクトクラブの協力）についても報告し、こういった奉仕活動を行っているのであれば、「クラブ優秀賞へのエントリー」（マイロータリー（クラブセントラル）から入力）をしてはどうか、というアドバイスをいただいた。今年度のプロジェクトにおける人数×時間や、会員増強数、年次寄付金額等を入力すれば、良いいに登録可能。最終確定は6月だが、定期的に登録し、積み重ねていくと良いとのこと。

・宮城学院女子大学とローターアクトの可能性についてもお話をいただいた。

（千葉会長・中鉢より）

・ポリオプラスソサエティ（PPS）等、寄付金のあらましについて、8/30のセミナーには出席したが、会員に伝えるにため、場合によっては卓話等で補完してもらえないか？という打診（森川PGへR財団／米山委員長の向山会員より打診予定）

・クラブサポートミーティングの開始時間を18時等、早めに出来ないか？

・インターアクト年次大会の開催場所を提供する旨を報告（聖ウルスラ学院さんと協議中）

・ビブスにプリントするロゴマークの最終校正をガバナー事務所（CC:加藤ガバナー）にお願いしたいとお伝えしたところ、早速加藤ガバナーより校了をいただいた。

（及川ガバナー補佐より）

・毎月のクラブサポートMTGの実績数値をMyRotaryへ登録後、同様の実績数値を及川ガバナー補佐へも別途提出要請をいただいた。

【例会】

及川ガバナー補佐、大槻代表幹事より一言いただいた後、加藤ガバナーより卓話を頂戴した。ロータリー活動を旅に例えたスライドは、数々の地区行動計画がすんなりと入ってくる設えで大変分かりやすかった。笑いを交えたエピソードからフランチェスコ・アレツォRI会長の人柄を知るには充分だったし、卓話を通じて世界中のロータリアンとのフェロウシップを想像出来た。テーマソングを添えてのウクライナの学生との交流活動もロータリーの可能性が感じられたが、両親を失くした少女がその意図を汲みとってカメラに向かって笑ってくれたスライドが忘れられません。総じて、クラブ会員のロータリー活動に対するモチベーションを更に上げられたガバナー公式訪問となりました。

（報告者：中鉢 貴省／仙台青葉RC幹事）



ガバナー公式訪問 報告 3

第7分區 仙台冠ロータリークラブ

■ 開催日：9月3日（水） ■ 会場：オブホテル
 ■ 同行者：大槻 昌夫 代表幹事 パブロヴァ・アンナ 及川正紹 ガバナー補佐



加藤代表のお話を拝聴し、ロータリークラブの理念、必要なマインドについて、知るきっかけになり、仙台のロータリークラブのこれまでの実績、先輩方の志をもっと聴いてみたいと思いました。

他の団体では売り上げ向上を目的としたものもありますが、ロータリークラブでは、周囲に善意を伝えられるか、社会に貢献できるかなど、高潔な理念を重んじていると感じ、もっと自己研鑽していききたいという気持ちになり、励みになりました。

そして、周囲の仲間とリーダーシップを発揮しながら目標により向かっていければ、自分のクラブがより良いものになると感じました。
 （報告者：前田 啓吾／仙台冠RC幹事）

第7分區 仙台宮城野ロータリークラブ

■ 開催日：9月4日（木） ■ 会場：ホテルメトロポリタン仙台
 ■ 同行者：板垣金太郎 次席副代表幹事 渡邊 宏 ガバナー補佐



・会長幹事会

第2520地区内のRC運営についての問題点を検証し、新たな発想、アイデアで運営しやすく、かつ、会員増強にも繋がる方法を、明るい気持ちで考えていきたいと思いますとの事とガバナーとの面談で感じました。

・例会

ガバナーの卓話から、ロータリーを楽しむために、ロータリーを育てるために、ガバナーの地区運営方針の「検討し、更新しよう」の思いが感じられました。また、ガバナーから、善きことをすれば、善きことが自分に帰る旨の話があり、改めて新鮮に感じられ印象に残りました。
 （報告者：小幡 敏美／仙台宮城野RC会長）

第7分區 仙台泉ロータリークラブ

■ 開催日：9月4日（木） ■ 会場：江陽グランドホテル
 ■ 同行者：大槻 昌夫 代表幹事 及川 正紹 ガバナー補佐



加藤ガバナーより、仙台泉ロータリークラブについてヒアリングがありました。

当クラブの年間行事についての確認、クラブ内の雰囲気については、委員会の組織もしっかりしており、年齢層も幅広く女性もおり、ロータリークラブらしい活動をされている印象とのことでした。

また、会員増強については特に注視されており、クラブ運営に支障をきたす要因ともなるため、なお一層励んでもらいたいとのことでした。

仙台冠RCについては良好な関係ではあるが、子クラブということもあり今後もクラブ運営については様々な面で協力して欲しいとのこと。仙台泉RACやIAC明成高校についても同様に関係性を維持していきたいと考えております。

続いて報告事項についていくつかありましたが、台北世界大会については2520地区は午後の開会式、日本から1万人という目標なので、クラブ内にも積極的に案内しなければと思いました。

次年度のIAC年次大会は若林区民体育館で7月12日に開催されること。

県内でも終結するRCがあるかもしれないということで、クラブ運営の難しさを痛感致しました。

（報告者：堀越 康寛／仙台泉RC幹事）

第7分區 仙台レインボーロータリークラブ

■ 開催日：9月5日（金） ■ 会場：ANAホリデイ・イン仙台
 ■ 同行者：板垣金太郎 次席副代表幹事 及川 正紹 ガバナー補佐



本日は加藤雄彦ガバナーをお迎えし、貴重なご指導をいただきました。

例会前の懇談会では、地区資金の枯渇問題についてお話を伺いました。コロナ禍の影響で会員の経済状況も厳しく、奉仕活動の財源確保が課題です。ガバナーからは、日頃からのロータリー財団への寄付が、3年後に資金として還元される仕組みを教えてください、その重要性を改めて学びました。

また、本日の例会は会員全員が参加し、100%の出席率を達成できたことをご報告いたします。ガバナーに感謝を申し上げるとともに、引き続きのご指導をよろしく願いたします。
 （報告者：本木 拓也／仙台レインボー RC幹事）

6～8月寄付認証

寄付報告(6月認証)

■ロータリー財団

認証	所属	氏名
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー	遠野RC	千葉 純子
	宮古東RC	飯岡 幸子
	佐沼RC	太田 陽平 ※1
	古川東RC	加藤 智治
	岩沼RC	小野 剛志
	岩沼RC	大友 浩幸
ポール・ハリス・フェロー	宮古東RC	中嶋 勝司
	仙台RC	西條 清和

※1：メジャードナー認証済み2025.4

■ロータリー米山記念奨学会

表彰名	所属	氏名
米山功労者メジャードナー	花巻RC	三田 望
米山功労者マルチプル	北上西RC	草野 文夫
	岩沼RC	大友 浩幸
	岩沼RC	小野 剛志
	大河原RC	甘糟 仁
	大河原RC	佐藤 能文
	米山功労者	岩沼RC
	大河原RC	佐々木由美子

表彰名	表彰クラブ
米山功労クラブ	岩沼ロータリークラブ

寄付報告(7月認証)

■ロータリー財団

認証	所属	氏名
メジャードナー(Level4)	仙台RC	加藤 雄彦
メジャードナー(Level1)	大船渡西RC	濱守 豊秋
ベネファクター	古川東RC	早坂 竜太
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー	盛岡RC	荒川 鉄平
	古川東RC	氏家 英喜
ポール・ハリス・フェロー	石巻東RC	相澤 剛
	石巻東RC	佐々木 至
	塩釜東RC	吉木 由美

■ロータリー米山記念奨学会

表彰名	所属	氏名
米山功労者メジャードナー	古川東RC	早坂 竜太
米山功労者マルチプル	盛岡RC	荒川 鉄平
	一関中央RC	佐藤 精
	一関中央RC	小野寺勳治
	仙台RC	板垣金太郎

寄付報告(8月認証)

■ロータリー財団

認証	所属	氏名
メジャードナー(Level4)	仙台宮城野RC	森川 昭正
メジャードナー(Level1)	仙台RC	阿部 芳廣
ベネファクター	仙台宮城野RC	有限会社エムエム 代表取締役 森川昭正
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー	盛岡西北RC	女鹿 靖典
	前沢RC	三浦 滋
	仙台RC	島田 博雄
	仙台RC	梁川 誠郎

■ロータリー米山記念奨学会

表彰名	所属	氏名
米山功労者マルチプル	仙台RC	西條 清和
	仙台RC	阿部 芳廣
米山功労者	仙台RC	阿部 賀寿男

クラブ会員数・寄付状況

クラブ会員数・寄付状況

8月ロータリーレート\$: 149

分 区	No.	クラブ名	会員数 (内女性)	財団寄付累計額 (ポリオ指定)	米山寄付 累計額	
第一分 区	久慈・二戸	1 久慈	24(1)	68,540	0	23,000
		2 二戸	43(4)	0	0	0
		3 種市	17(0)	0	0	0
	盛 岡	4 盛岡	70(2)	508,245	64,738	435,000
		5 盛岡北	34(3)	0	0	68,000
		6 盛岡西	21(2)	0	0	0
		7 盛岡南	46(1)	491,700	149,000	46,000
		8 盛岡東	25(2)	27,748	27,748	15,000
		9 盛岡中央	25(4)	0	0	57,500
		10 盛岡西北	42(5)	629,972	0	160,000
		11 盛岡滝ノ沢	4(3)	0	0	0
分区分合計			351(27)	1,726,205	241,486	804,500

第二分 区	花巻・北上	12 花巻	30(2)	134,100	0	30,000
		13 花巻南	29(1)	169,629	9,999	87,000
		14 花巻北	41(3)	0	0	0
		15 北上	37(4)	0	0	55,500
		16 北上西	19(4)	0	0	19,000
		17 北上和賀	21(4)	0	0	31,500
		奥 州	18 前沢	9(0)	149,000	0
	19 水沢		16(2)	0	0	0
	20 奥州水沢東		35(5)	0	0	0
	分区分合計			237(25)	452,729	9,999

第三分 区	一関・平泉	21 花泉	10(2)	0	0	10,000
		22 平泉	0	0	0	0
		23 一関	13(1)	133,595	0	39,000
		24 一関中央	14(6)	61,664	0	200,000
	大船渡・高田・ 千厩・気仙沼	25 大船渡	28(2)	0	0	0
		26 大船渡西	31(5)	19,370	14,900	75,000
		27 陸前高田	17(0)	52,406	0	17,000
		28 千厩	21(2)	0	0	0
		29 気仙沼	18(0)	0	0	0
		30 気仙沼南	35(1)	0	0	105,000
分区分合計			187(19)	267,035	14,900	446,000

第四分 区	遠野・釜石	31 釜石	20(1)	0	0	0
		32 釜石東	29(3)	0	0	0
		33 大槌	6(0)	0	0	0
		34 遠野	10(2)	0	0	0
	山田・宮古	35 宮古	30(2)	0	0	60,000
		36 宮古東	20(1)	0	0	70,000
		37 山田	19(1)	0	0	0
分区分合計			134(10)	0	0	130,000

第五分 区	三陸	38 石巻東	41(0)	305,450	305,450	20,500
		39 石巻西	31(3)	230,950	0	0
		40 石巻南	20(1)	0	0	9,500
	登米・栗原	41 栗駒	13(1)	0	0	0
		42 築館	17(2)	0	0	0
		43 佐沼	57(6)	213,976	0	100,000
		44 若柳	25(5)	0	0	0
分区分合計			204(18)	750,376	305,450	130,000

第六分 区	大崎	45 古川	41(3)	0	0	0
		46 古川東	42(1)	251,759	0	100,000
		47 岩出山	11(1)	0	0	0
		48 加美	19(0)	0	0	0
	松塩	49 大和	5(0)	0	0	0
		50 松島	5(0)	14,900	0	10,000
		51 塩釜	27(1)	8,046	0	81,000
		52 塩釜東	11(1)	5,138	5,138	0
		53 多賀城	20(2)	43,793	40,813	20,000
		54 利府	7(1)	0	0	0
55 七ヶ浜	13(1)	0	0	0		
分区分合計			201(11)	323,635	45,950	211,000

第七分 区	仙台青葉	56 仙台	122(6)	4,218,698	157,298	1,056,000	
		57 仙台泉	53(3)	48,342	0	243,000	
		58 仙台青葉	44(0)	0	0	110,000	
		59 仙台冠	20(4)	0	0	0	
	60 仙台レインポー	11(3)	26,389	0	30,641		
	仙台広瀬	61 仙台南	47(3)	627,978	0	238,000	
		仙台南一 白石衛星	18(8)	0	0	0	
		62 仙台北	59(2)	175,820	175,820	147,500	
		63 仙台東	52(0)	14,900	0	127,500	
		64 仙台西	38(1)	0	0	95,000	
		65 仙台宮城野	29(1)	10,030,415	5,000,000	145,000	
	66 仙台奥羽	24(4)	73,987	0	24,000		
	分区分合計			517(35)	15,216,530	5,333,118	2,216,641

第八分 区	阿武隈	67 岩沼	26(2)	0	0	62,500
		68 名取	35(3)	0	0	52,500
		69 亶理	11(0)	93,870	13,410	22,000
		70 角田	15(0)	0	0	0
		71 丸森	13(0)	0	0	0
	蔵王	72 白石	20(3)	26,820	0	27,000
		73 柴田	18(1)	30,552	10,277	0
		74 村田	13(1)	0	0	0
		75 大河原	31(4)	92,484	0	90,000
		分区分合計			182(14)	243,727
地区合計			2013(159)	18,980,237	5,974,590	4,460,141

RAC(4)	1 宮古RAC	5(2)
	2 古川東RAC	6(2)
	3 仙台RAC	3(0)
	4 仙台泉RAC	26(8)
RAC合計		40(12)

新入会員紹介

新入会員紹介

<p>佐沼 RC</p>  <p>みうら よしゆき 三浦 義幸 2025.7.4 入会 建設業</p>	<p>佐沼 RC</p>  <p>やまうち けん 山内 健 2025.7.4 入会 建設業</p>	<p>佐沼 RC</p>  <p>よしだ かよ 吉田 佳代 2025.7.24 入会 生命保険</p>	<p>佐沼 RC</p>  <p>もりた ようこ 森田 陽子 2025.7.24 入会 自動車販売</p>	<p>盛岡中央 RC</p>  <p>ふじさわ まさよし 藤沢 知芳 2025.8.1 入会 塗装業</p>	<p>盛岡中央 RC</p>  <p>よこざわ しゅんいち 横澤 俊一 2025.8.1 入会 二輪車輛修理</p>
<p>盛岡西北 RC</p>  <p>とづか まさひろ 戸塚 昌博 2025.8.1 入会 総合建設業</p>	<p>釜石 RC</p>  <p>みやざき ひろゆき 宮崎 洋之 2025.8.1 入会 水産加工業</p>	<p>釜石 RC</p>  <p>さとう ゆたか 佐藤 裕 2025.8.1 入会 家具製造</p>	<p>岩出山 RC</p>  <p>いざわ じゅん 佐々木 純 2025.8.1 入会 道の駅</p>	<p>仙台泉 RC</p>  <p>しょうじ けいすけ 庄司 恵介 2025.8.3 入会 食品卸売業</p>	<p>七ヶ浜 RC</p>  <p>かわべ ひろし 川邊 浩 2025.8.4 入会 電力供給</p>
<p>七ヶ浜 RC</p>  <p>すずき わかこ 鈴木 若子 2025.8.4 入会 デザイナー</p>	<p>二戸 RC</p>  <p>おがわ こうたろう 小川 光太郎 2025.8.5 入会 内装仕上工事業</p>	<p>盛岡 RC</p>  <p>たべ たかし 田部 卓 2025.8.8 入会 住宅開発</p>	<p>釜石 RC</p>  <p>きくち ゆういち 菊池 祐一 2025.8.19 入会 電力供給</p>	<p>盛岡西北 RC</p>  <p>はたなか こうたろう 畑中 康太郎 2025.8.20 入会 建設業</p>	<p>仙台北 RC</p>  <p>かりやど くにとし 刈宿 邦俊 2025.8.20 入会 タイヤ・チューブ製造販売</p>
<p>古川東 RC</p>  <p>すずき あきら 鈴木 顕 2025.9.1 入会 リネンサービス業</p>	<p>古川東 RC</p>  <p>おしま まさはる 小嶋 匡晴 2025.9.1 入会 食品製造販売</p>	<p>白石 RC</p>  <p>さとう さなえ 佐藤 早苗 2025.9.1 入会 生命保険業</p>	<p>奥州水沢東 RC</p>  <p>おのの ちゆき 大野 千雪 2025.9.2 入会 カウンセラー</p>	<p>奥州水沢東 RC</p>  <p>たなか まりこ 田中 真理子 2025.9.2 入会 看護サービス</p>	<p>盛岡北 RC</p>  <p>やまだ たかし 山田 隆 2025.9.4 入会 酒類卸</p>
<p>盛岡南 RC</p>  <p>たばた ゆい 田端 結 2025.9.11 入会 生命保険業</p>	<p>花巻南 RC</p>  <p>いわで ひかる 岩館 光 2025.9.11 入会 電気配線工事</p>	<p>宮古 RAC</p>  <p>たまの こはく 滝野 虎白 2025.7.1 入会 生活支援業</p>	<p>宮古 RAC</p>  <p>たてむら ひかる 館洞 光 2025.7.1 入会 介護福祉士</p>	<p>仙台泉 RAC</p>  <p>ささき だいすけ 佐々木 大介 2025.7.7 入会 フォトグラファー</p>	<p>仙台泉 RAC</p>  <p>すがや ゆうすけ 菅谷 裕輔 2025.7.14 入会 教員</p>

退会者報告

クラブ名	氏名	職業分類	退会日
気仙沼南 RC	千葉 豪	水産加工業	2025.6.30
柴田 RC	佐藤 雅彦	福祉施設	2025.8.1
古川東 RAC	千葉 高広	薬剤師	2025.8.15
二戸 RC	伊藤 充宏	保険業	2025.8.26
盛岡 RC	佐藤 宙	証券業	2025.8.30
仙台泉 RC	鎌田 安弘	塗装・外構	2025.8.30
奥州水沢東 RC	大野 武	塗装業	2025.8.31
気仙沼 RC	黒澤 拓司	通信機器販売	2025.8.31
仙台東 RC	中條 仁	整形外科医	2025.9.1

訃報

謹んでご冥福を
お祈り申し上げます。

仙台北 RC



佐々木 敬

2025年8月21日ご逝去
(享年83歳)

1990年2月14日入会

お知らせ

多賀城1300ロータリー衛生クラブがRI理事会より承認されました。

※詳しくは2520地区ホームページ>地区からのお知らせをご覧ください。

多賀城1300ロータリー衛星クラブ誕生のお知らせ

国際ロータリー第2520地区の仲間に、新たなクラブが誕生しました。

2025年8月21日付で国際ロータリー理事会より承認を受けた「多賀城1300ロータリー衛星クラブ」です。スポンサークラブは宮城県多賀城市に所在する多賀城ロータリークラブ(芦澤卓也会長)。23名の新会員が集い、歴史と未来をつなぐ拠点として歩みを始めました。

※詳細は、2520地区ホームページ>地区からのお知らせをご覧ください。

例会変更のお知らせ

築館ロータリークラブ 例会日を木曜日(これまで火曜日)に変更しました。

大船渡西ロータリークラブ 例会場を、大船渡市大船渡町字山馬越197 社会福祉法人典人会 介護老人福祉施設 ひまわりに変更しました。

※各クラブ最新情報は2520地区ホームページ>クラブ一覧をご覧ください。

訂正とお詫び

ガバナー月信8月号P10 新入会員紹介 後藤 謙典氏の所属クラブ

盛岡南RC × → 仙台北RC ○

ガバナー月信9月号P10 訃報 小野寺 慶志氏の所属クラブ

仙台南RC × → 千厩RC ○

でございました。

謹んでお詫び申し上げます、訂正させていただきます。

編集後記

多賀城1300ロータリー衛星クラブの誕生、おめでとうございます！このクラブは、2025年11月18日に予定される「日本・ウクライナ国際共同委員会(ICC)」の中核となる事務局機能を担って、全国のロータリアンと力を合わせウクライナの復興と平和を目指すとのことです。

日々ニュースで報じられるウクライナ国内の状況や、戦争の悲惨さに心を痛めておりますので、今後の活躍を大いに期待申し上げますとともに、地区内はもちろんロータリーの友でも情報発信できるようご支援したいと思います。

みなさま頑張ってくださいませ！

(月信、ホームページ、ロータリーの友担当幹事) 三浦 泰弘